



提供していただいた布やご自宅の布で…



沢山のマスクを作ってくださいました！

ボランティアさんによる手作りマスク
 村内の福祉施設にお届けしました！



はやしの杜にて



こぶし園にて

新型コロナウイルス感染症感染拡大によりマスクの需要が高まる中、マスク作りのボランティアを募集したところ、大変多くの方に協力していただきました。

開始直後から「良かったら使ってください」と布やゴム紐を届けてくださりマスクの材料が集まりました。

この提供してくださった布やご自宅にある布で製作していただき、800枚を超え、心のこもったマスクが集まりました。

「喜んでいただけると嬉しいです」「大変な日々ですが、みんなで頑張りましょう」等、ボランティアさんのあたたかいメッセージとともに、村内の福祉施設に2回に分けてお届けし、大変喜んでいただいております。協力してくださったボランティアのみなさま、ありがとうございます。

新型コロナウイルスの影響で2月末から休止していたミニデイをこの7月より再開いたしました。

どのような点に気を付けて行えばよいか事前に各地区の代表者を集まっていたいただき確認を行いました。

写真は4ヶ月ぶりに開催された福島地区と山田地区のミニ



山田ミニデイ



福島ミニデイ

ミニデイ・サロンの再開!!

ミニデイの様子です。まず入室する前に順番に体温計で熱を測り、体調を確認し、手指消毒を行いました。イスは1メートル以上離して間隔を開けて座り、社協職員より、参加する際の留意点などをお話しさせていただきました。福島は講師の先生による介護予防体操を行いました。全員マスクを着用しての体操でした。

ので、休憩を多めに取りながら進めていきました。久しぶりのミニデイに皆さん大変喜んでおられました。

同じく自粛や休止していたサロンですが、集まれなかった期間はスタッフの方々が、訪問という形で脳トレのプリントやお茶菓子を参加者の皆さんのお宅に配りながら様子を気にかけてくださって



消毒・体温計セット



柿外土手作りサロン

理事会・評議員会が開催されました

豊丘村社会福祉協議会の、令和2年度第1回理事会及び第1回評議員会が開催されました。

理事会、評議員会での議案及び審議結果は次のとおりです。

第1回理事会

(令和2年6月8日)

○議案第1号 令和元年度事

令和2年度 社協会費のお願い

急速な少子高齢化、核家族化、さらには個人の価値観が多様化する中で、家族や地域で相互に支えあう機能が弱まり、地域のつながりも希薄になってきています。このような中、地域で誰もが安心して充実した生活が送れるようにするために、住民相互の「支え合い」を基盤とした福祉(地域福祉)の推進が重要視されています。

豊丘村社会福祉協議会では、「高齢者も障がい者も、安心して暮らせる豊丘村づくり」を目指して地域福祉活動を実施していますが、そのために、住民相互の「支え合い」を基盤とした福祉(地域福祉)の推進が重要視されています。

<社協会費の使いみち>

- くらしの相談事業
- ボランティア育成事業
- 障がい者支援事業
- 軽リフト車貸出事業
- 福祉のまちづくり推進事業

社協会費推進月間

7月1日▶8月31日

- 一般会員(1世帯) 1,000円
- 賛助会員(個人) 3,000円
- 法人会員(事業者) 3,000円～

業報告及び決算報告について

(承認)

○議案第2号 評議員会の召集について

(可決)

第1回評議員会

(令和2年6月22日)

○議案第1号 令和元年度事業報告及び決算報告について

(承認)

令和元年度 豊丘村社会福祉協議会事業報告

理事会・評議員会で承認された事業
報告・決算報告の概要を掲載します。

1 活動の概要

豊丘村においても少子高齢化の問題や、社会環境の変化による個人間格差の拡大等から、様々な社会的弱者の増加が懸念されています。

豊丘村社会福祉協議会では、高齢の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、在宅介護支援体制の充実や、住民の皆様様の日常生活における困りごとに対応した支援体制の整備など、より充実した福祉サービスの提供を目指し、次のとおり活動しました。

また、介護保険事業の運営につきましては厳しい状況が続いていますが、介護予防・日常生活支援総合事業対象者などによる、訪問・通所介護事業利用者の増加がみられています。

2 重点事項

- (1) 介護サービスの充実
- (2) 介護予防対策の充実
- (3) 高齢者・障がい者等の生活支援・生きがい対策の充実
- (4) 結婚相談事業の充実
- (5) ボランティア育成と活動の推進
- (6) 社会的弱者の支援
- (7) 福祉事業の普及啓発

3 活動内容

- (1) 介護サービスの充実
 - ・介護サービス計画の作成
4名のケアマネージャーにより1,015件のケアプランを作成・提供しました。
 - ・訪問介護(早朝、夜間含む)
総合事業も含め11,127回の利用がありました。
 - ・通所介護(月曜日～土曜日、祝日)
デイサービスセンター「ほほえみ」において、303日間に総合事業も含め、延べ8,218名の利用がありました。
 - ・ケアマネージャーによる介護相談の随時実施
 - ・介護者リフレッシュ事業の実施
4回開催し、延べ49名の参加がありました。
 - ・おむつ代補助 178名(3,326千円)の利用がありました。
- (2) 介護予防対策の充実
 - ・介護予防・日常生活支援総合事業の実施
はつらつクラブでは延べ4,401名の利用がありました。
 - ・ミニデイサービス(地域主催)への協力支援
15の地区の163回の活動を支援し、延べ1,988名が参加しました。
 - ・ふれあい交流(「おいでなんしょ会」「高齢者昼食会」等)への補助
おいでなんしょ会138回に248千円、昼食会73回に1,306千円助成しました。
 - ・高齢者等見守りネットワーク模擬訓練の実施
(声かけ訓練を通して認知症の理解と啓発を図る)
10月14日伴野区の協力により、スタッフ40名、参加者41名により実施しました(村・社協共催)。
- (3) 高齢者・障がい者等の生活支援・生きがい対策の充実
 - ・ヘルパーによる生活支援・安否確認等
 - ・高齢者ふれあいサロンの支援
7カ所のサロンにおいて、161回のサロンが開催され、延べ2,688名が参加しました。
 - ・配食サービスを実施し1,410食の利用がありました。
 - ・福祉タクシー事業の運用
年度末のタクシー証登録者は約1,155名で、全体の利用件数は14,971回でした。
北部タクシーへの支払額は20,435千円余となりました。

- ・「車いす対応軽四輪車」の貸出
利用登録者に対し、1回300円で139回貸出を行いました。
 - ・「独居高齢者希望の旅」事業を実施し、10名の参加がありました。
 - ・「高齢者クラブ」への活動協力及び助成並びに独居高齢者の会「こぶし会」への支援
 - ・身体障がい者・知的障がい者・重度身体障がい者希望の旅事業を実施し、それぞれ16名・34名・7名の参加がありました。
 - ・障がい者スポーツ大会への協力支援
 - ・障がい者総合支援法によるホームヘルプ
- (4) 結婚相談事業の充実
 - ・村内の結婚希望者に関する情報収集
 - ・近隣市町村との情報交換、交流(「天竜縁結びの会」等)を実施
 - (5) ボランティア育成と活動の推進
 - ・災害時にスムーズにボランティアの受け入れができるよう、第4回目となる「災害ボランティアセンター立ち上げ訓練」を、8月4日(日)に「ゆめあるて」において、参加者65名により実施しました。
 - ・台風19号豪雨災害による「災害ボランティアセンター(長野市長沼地区)」へスタッフとして、16日間、延35名の職員を派遣しました(市町村社協相互応援協定)。また、村民及び村内事業所に勤務の方を対象として、ボランティア活動バスバックを2回実施し、それぞれ11名・10名の参加がありました。
 - ・ボランティアニーズの把握、個人・団体の組織化、情報発信
 - ・ボランティアの活動援助(ボランティア保険、謝金等の補助)
 - ・ボランティア研修の充実
 - ・個人ボランティアの育成と啓発(介護予防サポーター育成研修)
 - ・ボランティア登録数 個人 133名 グループ 12団体
 - ・飯伊ブロックボランティア交流研究集会(飯伊ブロック14市町村社協主催)を豊丘村が当番社協となり、2月8日(土)に「ゆめあるて」において、参加者約300名により実施しました。
 - (6) 社会的弱者の支援
 - ・生活福祉資金の取り組み(県・国)
 - ・小口資金(くらしの資金・医療貸付金)(豊丘村独自)の取り組み
くらしの資金新規利用は3名、80千円で、期末貸付残高は1,055千円となっています。
 - ・くらしの相談の実施(民生児童委員・行政相談員連携事業)
毎月26日(原則) 場所 「はつらつ」
 - (7) 福祉事業の普及啓発
 - ・社協報、情報誌等の発行年4回
 - ・福祉啓発イベントの開催
 - ・福祉まつり 11月9日(土)
於 デイサービスセンターほほえみ
ポッチャの体験、「介護用品あげます・ください」・フードライブの開催
 - ・台風19号豪雨災害ボランティアセンターへの職員派遣活動内容の展示 来場者数 410名
 - ・健康と福祉のつどい 3月に計画したが、新型コロナウイルス感染防止対策により中止しました。
 - ・福祉のニーズ調査・検討
 - ・赤い羽根共同募金の推進 (10月から 募金額1,710千円)

4 そのほかの事項

会議・行事

月日	事項	内容
令和元年5月29日	監査	・平成30年度事業・決算監査
6月7日	理事会	・平成30年度事業・決算報告 評議員の推薦・就業規則等の改正
6月24日	評議員会	・平成30年度事業・決算報告 理事・監事の選任
6月26日	理事会	・会長・副会長の選定
7月16日	会長・事務局長会議	・北部5町村社協 於 豊丘村
11月19日	中間監査	・令和元年度上半期事業・中間決算監査
12月17日	理事会	・令和元年度上半期事業・中間決算報告 ・労働組合からの要求に対する回答等 評議員の推薦
令和2年3月16日	理事会	・令和2年度事業計画・予算 就業規則等の改正
3月27日	評議員会	・令和2年度事業計画・予算

【関連団体構成】

豊丘村高齢者クラブ連合会

豊丘村身体障害者福祉協会

73名

772名

令和元年度 社協決算報告

法人運営

収入合計 81,706,189 支出合計 80,786,163

次年度繰越金 920,026円

(単位:円)

収 入			支 出			
区 分	H30決算額	R1決算額	区 分	H30決算額	R1決算額	内 容
会 費	2,447,500	2,477,500	法 人 事 務 費	19,255,437	18,846,399	役員報酬等
寄 附 金	60,000	269,901	地 域 支 援 事 業	24,887,434	24,226,783	高齢者昼食会補助金等
豊丘村補助金	75,395,610	71,498,716	結 婚 相 談 事 業	550,306	525,479	相談員報酬等
共同募金配分金	1,335,937	1,415,405	くらしの相談事業	91,000	80,600	相談員報酬等
受 託 金	3,877,206	4,174,796	ボランティア事業	1,087,044	1,284,327	ボランティア活動保険料等
償 還 金 収 入	142,000	327,000	福 祉 の ま ち づ くり 事 業	22,721,362	20,862,757	福祉タクシー事業等
事 業 収 入	737,360	712,260	介 護 予 防 拠 点 施 設 管 理 事 業	9,382,534	8,642,088	水道光熱費等
受 取 利 息 配 当 金 収 入	2,730	4,261	共 同 募 金 配 分 事 業	1,335,937	1,415,405	身体障がい者希望の旅助成金等
雑 収 入	128,207	133,851	北 部 地 区 結 婚 相 談 所 事 業	3,881,206	4,178,296	人件費・イベント経費等
固定資産売却収入	0	10,800	拠 点 区 分 間 繰 入 金 支 出	846,720	450,082	退職共済預け金
そ の 他 収 入	0	8,680	積 立 資 産 支 出	62,564	273,947	運営基金積立
前年度繰越金	648,013	673,019				
合 計	84,774,563	81,706,189	合 計	84,101,544	80,786,163	

介護事業

収入合計 207,315,326 支出合計 162,906,751

次年度繰越金 44,408,575円

(単位:円)

収 入			支 出			
区 分	H30決算額	R1決算額	区 分	H30決算額	R1決算額	内 容
居宅介護支援収入	17,052,132	16,793,910	居宅介護支援支出	20,896,529	20,102,387	人件費等
訪 問 介 護 収 入	29,337,730	36,898,251	訪 問 介 護 支 出	27,877,123	26,917,313	人件費等
通 所 介 護 収 入	63,052,658	89,095,678	通 所 介 護 支 出	60,211,942	89,702,608	人件費等
はつらつクラブ収入	12,648,630	13,902,380	はつらつクラブ支出	11,927,308	12,001,974	人件費等
障がい福祉収入	2,250,220	2,091,110	障がい福祉支出	2,250,220	2,091,110	人件費等
施 設 整 備 等 補 助 金 収 入	1,500,000	1,291,680	固定資産取得支出	8,013,600	848,320	サーバー・パソコン
固定資産売却収入	0	1,874,516	フ ァ イ ナ ン ス 債 務 の 返 済	0	970,704	介護ソフトリース
拠 点 区 分 間 繰 入 金 収 入	846,720	450,082	積 立 資 産 支 出	5,024,162	16,575	基金利息積立
積立資産取崩収入	13,193,686	0	退 職 共 済 預 け 金 支 出 等	2,360,604	1,531,140	退職共済預け金等
退 職 預 け 金 返 還 金 収 入		16,054,713	退 職 共 済 預 け 金 移 管 金 支 出	0	8,724,620	退職年金共済差益
退 職 共 済 預 け 金 移 管 金 収 入	335,908	878,227				
リサイクル料金預け金返還収入	0	111,520				
前年度繰越金	26,217,063	27,873,259				
合 計	166,434,747	207,315,326	合 計	138,561,488	162,906,751	

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で、生活資金でお悩みの皆さまへ

生活福祉資金制度による 緊急小口貸付等の特例貸付Q&A

問1

この貸付は、どういう人が対象となりますか？

➡緊急小口資金は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減収があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯が対象となります。

総合支援資金は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯が対象となります。

問2

この貸付は、どうしたら受けられますか？

➡豊丘村社会福祉協議会で申し込みが必要です。郵送による受付も進めています。また、緊急小口資金については、労働金庫、郵便局による受付もできます。

問3

いくらまで貸付を受けられますか？

➡緊急小口資金は、学校等の休業、個人事業主等の特例の場合は20万円以内、その他の場合は10万円以内です。

また、主に失業された方等で生活の立て直しが必要な方については、総合支援資金により二人以上の世帯では月20万円以内、単身世帯は月15万円以内の貸付を、原則3か月以内の期間受けることができます。

問4

この貸付は、どのくらいの利子がかかりますか？

➡今回の特例貸付については、緊急小口資金、総合支援資金ともに無利子です。

問5

この貸付は、保証人がいなくても借りられますか？

➡今回の特例貸付は保証人がいなくても、無利子で借りられます。



問6

この貸付は、いつまでに返済しないといけないのですか？

➡緊急小口資金の据置期間は1年以内、償還期限は2年以内です。

また、総合支援資金の据置期間は1年以内、償還期限は10年以内です。

具体的な要件や必要書類については、長野県社会福祉協議会のホームページ、または、豊丘村社会福祉協議会地域福祉課までお問合わせください。

「豊丘村赤十字奉仕団」地域に根差した奉仕活動

今年も、豊丘村赤十字奉仕団による、福祉施設の奉仕活動を行っていただきました。

6月23日、デイサービスセンターほほえみに第5分団（小園）の25名の皆様、7月9日、介護予防拠点施設はつらつに第4分団（伴野）の11名の皆様が来ていただきました。

ほほえみでは中庭等の草取りや窓ふきを、また、はつらつでは室内の清掃や机・椅子の拭取り作業を行っていただきました。どちらの施設も見違えるほどきれいになり、利用される方にも喜んでいただいております。

暑い時期での大勢の皆様の活動に、心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

ボランティアセンターだより No.34

豊丘村ボランティアセンター TEL 35-1122 / FAX 35-1123 E-mail: vcenter-toyooka@mis.janis.or.jp

コロナ禍でのボランティア活動について

この半年間、新型コロナウイルス感染症により、村内のボランティアさんの活動も影響を受けていますが、「この状況だからこそ、今できることを！」との思いで徐々に活動が始まっています。

地域のボランティア団体の皆さんは、年に数回集まっていた高齢者の方達との昼食会を『お弁当の配達』という形に変え、地域とのつながりを大切に活動を続けています。また、おひとり暮らしや高齢者世帯の皆さんにお弁当をお届けする配食ボランティアの皆さんも、マスク着用・手指消毒の徹底等感染予防に努めながら、高齢者の皆さんの安否確認等の活動を続けてくださっています。

今できるボランティアを皆さんと一緒に考えながら、新たなつながりをつくっていきましょう。

長野県社会福祉協議会より 長野市災害ボランティア センターに係る活動のお礼

令和元年度台風19号災害に際し、長野市災害ボランティアセンターの活動にご協力を賜り、誠にありがとうございました。

新型コロナウイルスの感染拡大で、被災地への支援活動も影響を受けておりますが、今後も、被災地へのご支援、ボランティア活動へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



『困窮世帯への支援食糧緊急募集』(フードドライブ)のお礼

新型コロナウイルスの影響で生活が苦しい家庭への支援がますます必要になる中、困窮者支援に取り組む県社会福祉協議会がフードバンク事業に取り組む各団体と連携して、6月1日～12日まで共同で支援食品の緊急募集を行いました。

豊丘村社協でも有線放送等で村民の皆様へ呼びかけをさせていただきましたところ、多くの村民の皆様からたくさんの食料品をいただくことができました。



◎いただいた食品のご報告をさせていただきます。

- ・お米(白米・玄米・もち米など).....671.8kg
- ・缶詰(シーチキン・鯖缶など).....22個
- ・レトルト食品(カレー・ミートソースなど).....21個
- ・インスタント食品(カップ麺・ラーメンなど).....83個
- ・お菓子(せんべいなど).....4袋

皆様からいただいた食料品はフードバンクをはじめ、必要とされるご家庭にお届けさせていただきます。

皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

今後も社協では支援食品の募集を行ってまいります。引き続き皆様のご協力をお願いいたします。